

新しい南病棟の増築工事が終わり、酒田医療センターから消化器内科、整形外科、精神科の移行が完了した日本海総合病院。25科の診療科を置く県内最大規模の総合病院としての体制が、今年10月にいよいよ整いました。

日本海総合病院は、平成20年4月、県立日本海病院と市立酒田病院が経営統合して誕生した総合病院です。「地方独立行政法人 山形県・酒田市



(上)新設された救命救急用ヘリポート
(下)最新型の320列CTは県内初導入

換するという、大規模な医療体制再編を目的に行われたものです。

完成した南病棟は、鉄筋コンクリート造5階建て、延べ床面積1万5600平方メートル。一般病床数はこれまでより118床増えて646床（うち人間ドック6床）に、外来診察ブースは17ブース増えて53ブース、手術室は5室増設し12室となりました。検査機能、放射線施設、周産期施設

病院機構」が運営し、病院の名称はそれぞれ「日本海総合病院」と「酒田医療センター」に変更されました。

今回の増築工事は、日本海総合病院を発症間もない患者の治療にあたる急性期医療や高度医療、救急医療を集約した病院に、酒田医療センターを在宅復帰などの支援を行う療養型病院に転

などの医療設備もさらに強化し、身体内部をより細かく、広範囲に撮影できるうえ、スピーディーな検査が行えて被爆量も少ない「320列CT」を県内で初めて導入しました。また産婦人科には、陣痛から出産、回復するまでの間、部屋を移動することなく同じ部屋で過ごすことができ、家族も付き

酒田市の日本海総合病院が 県内最大規模の総合病院へかわります。

日本海総合病院

市内の地域情報をお届けする
シリーズ第1回は、私たちの生活に欠かせない
「地域医療」についてです。

添うことのできる個室「LDR室」を新たに2室設けています。

今後は、より重症な患者に対する高度救急医療を実現するために、「救命救急センター」の開設を平成23年4月までに進める予定です。また、この度の工事では屋上に融雪装置の付いた救命救急用のヘリポートを設置しました。さらに新病棟内には、酒田地区広域行政組合消防署の救急隊一隊が常駐する「酒田救急ステーション」を新設し、救急隊員に対し、一部の医療行為が行える救急救命士の研修を行いながら、救命救急センターとともに人命救助に動く予定です。

日本海総合病院はこれらが本格的に稼動すれば、今まで対応が難しかった重篤な急性心筋梗塞や脳卒中、多発性外傷などの患者に対しても、24時間体制で医療対応ができるようになります。これほどの機能を備えた病院は全国でもあまり例がなく、住民の安心・安全を担う地域医療施設として、ますます大きな期待が寄せられます。

診療科などについてのお問い合わせは、日本海総合病院☎0234(26)2001、酒田医療センター☎0234(23)1111までどうぞ。

Shonai Topic

市内トピック①

文||相原久生
取材・編集・写真撮影||Cradle編集部
写真協力・資料提供||日本海総合病院